

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月27日

部局等名	環境部	課かい名	環境政策課	推進責任者氏名	柳下 元邦
------	-----	------	-------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	月に1度の課内全員での定時退庁は、毎月実施することができなかった。定時退庁の日を毎月しっかり定め、全員で取り組む姿勢を共有し夜間電気の使用削減に努めたい。
	具体的内容	月に一日以上は、全員で定時退庁をする日を調整し、実行に移して夜間電気の使用削減に努めます。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	ロゴチャットなどを利用し、共有事項等についてペーパーレス課をはかった。庁内に紙資料が必要となる際は裏紙使用の徹底、両面印刷の徹底を行うことができた。また、環境調整会議などでSideBooksを利用し、タブレット端末を活用した会議を実施した。
	具体的内容	ペーパーレスを推進し、庁内の会議資料等の印刷を減らします。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	課内全員で水筒の活用を日常的に行うことができた。
	具体的内容	令和5年度から庁舎に導入されたウォーターサーバーの利用を積極的に行い、ペットボトルの購入を抑えます。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

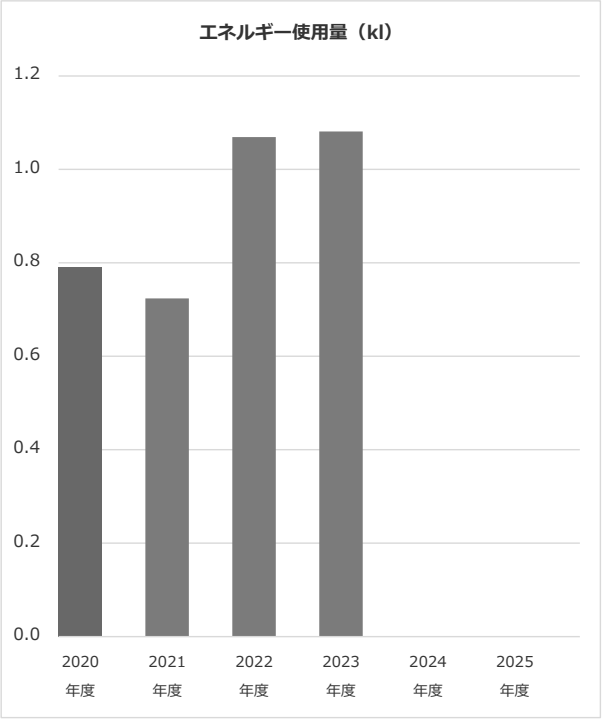
実績	前年度比	1.1 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	南口マナースペースの脱臭空気清浄機は、人感センサーでスイッチが入る仕様になっているため、エネルギー使用量は、利用者の多寡によって変動する。前年度に比べて利用者が多かったと考えられる。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	30.7	28.1	41.5	41.9		
エネルギー使用量(kl)	0.8	0.7	1.1	1.1	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-8.6%	47.8%	1.1%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	南口マナースペース	計画	煙の吸引力を低下させないため、定期的にフィルターの交換を行い、併せて空気清浄機に異常がないか確認をする。
		実績	週1回プレフィルターを交換し、目詰まりしやすいヘパフィルターは、交換時期を見極めて業者の保守管理を実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	課内ミーティングにて、取組目標の共有を職員全員で行った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
課内で常にエコオフィス行動ルールを意識し仕事に取り組むことができた。エネルギー使用量の削減については、定時退庁以外にも、離席時PCの天板を閉じることやコピー機の使用後は省エネボタンを押すなどを実施することができた。また、南口マナースペースについては週に1回のプレフィルタ交換を必ず行った。	他課の模範となるように課職員一丸となってエコオフィス行動ルールを徹底し、エネルギー使用量の削減・温室効果ガスの排出量削減といった目標達成に向けて努力していきたい。また、職員の環境意識のさらなる醸成を目的に全庁的なエコオフィス行動ルールの取り組みを展開したい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月28日

部局等名	環境部	課かい名	環境保全課	推進責任者氏名	添田 裕巳
------	-----	------	-------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノー残業デイ(毎週水曜日)及び毎月20日(給料日)は全員定時に退庁を促した。し尿処理広域化に関する事務により前年度と比較し、一人当たりの時間外は、79. 25時間/年から86. 33時間/年に増加した。引き続き、時間外の削減に取り組みます。
	具体的内容	電気・燃料使用量の削減 ノー残業デイ(毎週水曜日)及び毎月20日(給料日)は全員定時に退庁する。また常時定時退庁を推進する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	エコドライブの推進と走行ルートの合理化を図った。苦情などが多く発生し、現場に出る機会が多くあった。自転車なども活用しながら引き続きエコドライブを心掛け、燃料使用量の削減に取り組みます。
	具体的内容	公用車燃料使用量削減 課で管理する公用車について、エコドライブを推進し、燃費を前年比1%改善する。また、走行ルートの合理化を図ります。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	プラごみが可燃ごみに混入しないように課内のごみ箱内を点検を実施した。ごみ箱の点検作業を継続するとともに事務用品を始めとする購入物品などでパルク品などの購入も検討します。
	具体的内容	容器包装プラスチックごみのリサイクルの推進 プラごみが可燃ごみに混入しないように課内のごみ箱内を点検する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

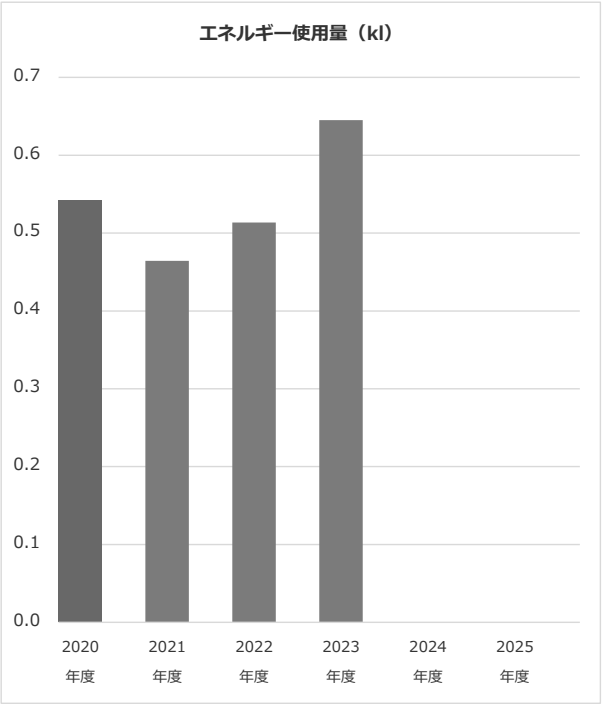
実績	前年度比	25.6 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から「5類感染症」になり、屋外で活動する人が増えたことにより、電気使用量が増加している。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	21.0	18.0	19.9	25.0		
エネルギー使用量(kl)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-14.3%	10.6%	25.6%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	公衆便所(6箇所)	計画	利用者にトイレの節水、節電のお願いを掲示
		実績	利用者にトイレの節水、節電のお願いを掲示 シャワーの蛇口を自動止水栓に交換(3箇所)
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	書面により実施。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	書面により実施。法令順守を確認した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
コロナが感染症の5類に位置付けられ、社会の活動が活性化してきており、それに伴い前年度に比較して活動量が増えている。	社会の活動量の増加に伴うエネルギーの増加については抗う術がないが、ノー残業デーの推進やエコドライブの推進など、できることから取り組んでいく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 6年 5月16日

部局等名	環境部	課かい名	資源循環課	推進責任者氏名	小俣 昇士
------	-----	------	-------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	荷物等の運搬がない場合は、上下3階の移動はエレベーターでなく階段を利用した。
	具体的内容	エレベーターの利用を控え上下3階は階段を利用します。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	資料作成にあたっては、両面印刷、集約印刷、確認用であれば裏紙の再利用を行った。
	具体的内容	両面印刷、集約印刷、裏紙の再利用を推進します。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	使用済みの紙類については、資源化にするとともに、個人情報が記載された書類についてもシュレッター処理し再資源化を行った。
	具体的内容	個人情報を含む書類を焼却処理せず、シュレッダー処理することにより、もやせるごみの量を削減します。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

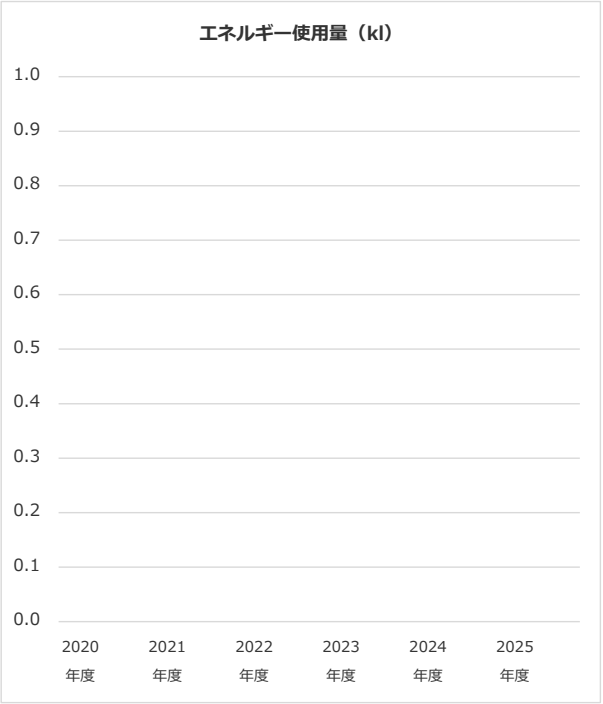
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月1日に実施、C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	廃棄物処理は各主管課、回収調整とマニフェスト管理は資源循環課にて実施のため、様式2は資源循環課にて作成し各課に参考送付した。
新任・異動者研修	■ 実施	6月1日に実施（対象者1名全員参加）、10月10日に実施（対象者1名全員参加） C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 6年 5月16日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
計画に掲げたそれぞれの目標について、順調に取り組みを進めることができた。 特に資源の再利用と廃棄物の削減については、全庁の模範となるよう努めた。	資源の再利用と廃棄物の削減をより一層推進するため、引き続き模範となるよう取組を進めるとともに、全庁的に周知啓発を行っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和 6 年 5 月 17 日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター	推進責任者氏名	富田 雄也
------	-----	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	昼休みに不必要な照明等を消灯するとともに室内の使用していない箇所の電気を細目に切ることによって節電を図った。
	具体的内容	昼休みに不必要な照明を消灯します。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	中間期には外気取り入れを積極的に行い、自然換気による空調負荷の低減を図った。また、空調時も空調風量を強から弱運転に切り替えて運用した。
	具体的内容	中間期(春季・秋季)は対角線上に窓やドアを開放し、自然換気を行います。	
3	取組項目	E. その他	計量休憩所の屋上に簡易的な緑化を行い、天井部材からの輻射熱による不快さ及び空調負荷の低減を図った。
	具体的内容	植栽の育成により、建物の温度上昇抑制を図ります。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

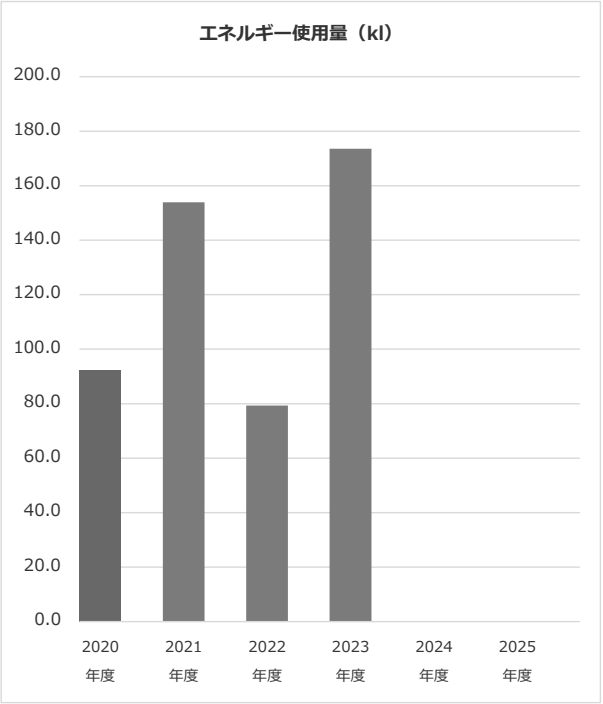
実績	前年度比	118.7 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	修繕等のため、焼却炉及びボイラ・タービンの停止期間が前年度より長くなった。よって、発電していない期間が長くなり、買電量が増加したため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	3578.7	5965.7	3074.9	6725.3		
エネルギー使用量(kl)	92.3	153.9	79.3	173.5	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	66.7%	-48.5%	118.7%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター(旧清掃事業所)	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	計画的に実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月30日に実施。G-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月30日に実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	5月30日に課内研修と合わせて実施。取組内容について周知した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 6 年 5 月 17 日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
焼却施設の安全運転のため修繕を行った事に因り、買電量が増加し、省エネの目標は達成できなかった。しかし、修繕後は炉の安全な運転及びタービンによる安定した電力供給が実施でき、1月及び2月においては買電をせずに施設運営できている。	今後においても引き続き職員の環境配慮の意識啓発をはかり、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電等を心がけ、省エネを意識した施設の安全管理に努めます。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月21日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター(業務担当)	推進責任者氏名	富田 雄也
------	-----	------	----------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品や備品の購入については、適切に計画して購入し、繰り返し使用できるものや修理して使用できるものは、可能な限り使用することで、資源の有効利用を実施しました。
	具体的内容	物品及び備品の修繕利用に努め、使用期間の長期化を図ります。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	乗り合わせや二度手間とならないように努めて運用していたが、打ち合わせの機会が多かったため、削減することができませんでした。
	具体的内容	所内と本庁との事務連絡の効率化により公用軽自動車使用節減を推進します。(前年比1%減以上)	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	空調は必要時のみ最低限度の使用にとどめたり、照明についても、使用していない部屋は、こまめにスイッチを切るなど努めたことにより、前年度より削減することが出来ました。
	具体的内容	冷暖房使用時間の節減及び使用していない照明の一部を節減します。(前年比1%以上)	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

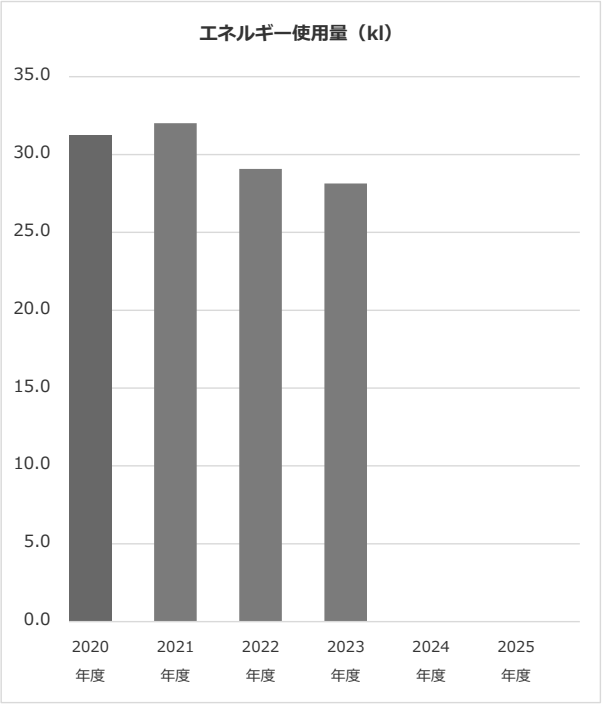
実績	前年度比	-3.2 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	職員ひとりひとりの省エネ意識が向上し、電灯やエアコン等の節電をしたため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	1211.7	1241.0	1126.8	1091.0		
エネルギー使用量(kl)	31.3	32.0	29.1	28.1	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	2.4%	-9.2%	-3.2%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター(旧収集事務所)	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	定期的な点検や清掃を実施した
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月21日実施。G-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月21日実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	5月21日課内研修に合わせて実施。課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない		
■ 要望伝達・協力要請が実施されている		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年3月13日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
不要な照明をこまめに消灯したり、空調機の適正な運転を実施したことにより節電となり、エネルギー使用量の削減ができました。 その他、携帯タイマーを利用したボイラースイッチのオン・オフの切り替えによる省エネを実践したり、階段踊り場に光熱水費の月々の使用料を掲示することで職員の省エネ意識の高揚を図り、職員ひとりひとりが節電・節水の必要性の共通認識を持って、行動できるよう行いました。	今後も引き続きこれらの活動を継続し、職員の環境配慮の意識啓発を図り、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電や節水を心がけ、省エネを意識した施設管理に努めてまいります。また、本庁との連絡等については、センター内で調整をとり効率的な運行及び省エネ運転を心がけ、燃料削減に努めてまいります。 そして、取り組み目標達成のため、新たに着手できるような取組があれば積極的に取り組んでいきたいと考えております。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月17日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター(堤十二天最終処分場)	推進責任者氏名	富田 雄也
------	-----	------	---------------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	走行速度や運航ルートに注意しつつ運行したが、燃料消費量は前年度に対して2.5%微増となった。運搬車両の老朽化もあるため整備や車両の購入も含め検討する。
	具体的内容	焼却灰運搬車の省エネ運転を推進します。(前年比1%以上)	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品の購入については、適切に購入し、ファイル等繰り返し使用できるものは、可能な限り使用することで、資源の有効利用を実施しました。
	具体的内容	事務用品は計画的に購入し、適切な在庫管理を図ります。	
3	取組項目	E. その他	熱中症警戒アラート及び暑さ指数をチェックして予防に努めた。さらに、こまめに水分補給し、作業員の状態確認をしながら、作業をおこなった。
	具体的内容	夏季の屋外作業時は定期的に水分・塩分を摂取し、熱中症予防を推進します。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

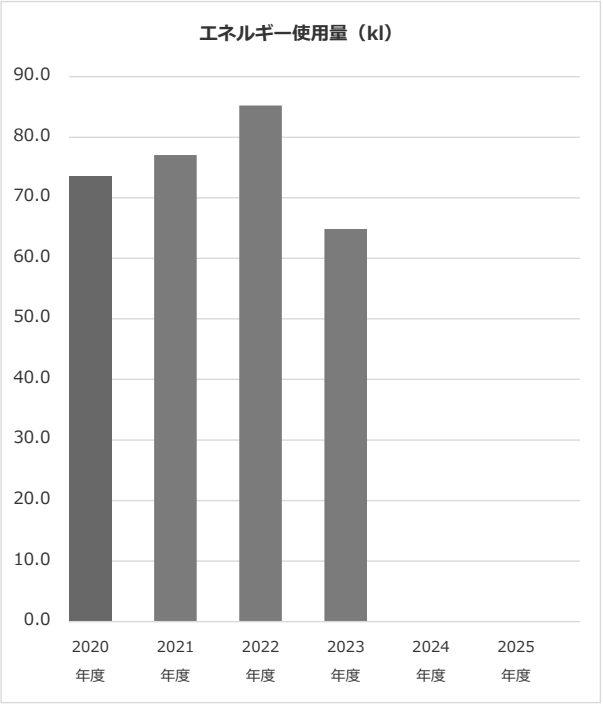
実績	前年度比	-23.9 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	ポンプ等の動力機器の稼働時間が減少したため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	2852.5	2986.2	3304.0	2514.0		
エネルギー使用量(kl)	73.6	77.0	85.2	64.9	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	4.7%	10.6%	-23.9%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター(堤十二天最終処分場)	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	計画通り実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月30日に実施。G-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月30日に実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	5月30日に課内研修と合わせて実施。取組内容について周知した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

作成年月日 令和6年5月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
屋外作業も多い中で体調を崩す作業員も無く、適切な体調管理が行われ、節電、節水等により1%以上の省エネの目標を達成できている。	今後においても、引き続き職員の環境配慮の意識啓発を図り、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電等に心がけ、省エネを意識した施設の安全管理に努めます。